

平成26年度第1回大分県行財政改革推進委員会 知事あいさつ要旨

大変お忙しいところ、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございました。心からお礼を申し上げます。

皆さん方には日頃から、適正かつ効率的な行財政運営につきまして、大変ご心配をいただき、また、ご指導をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

おかげさまで、25年度末の財政調整用基金の残高でございますけれども、443億円ということございまして、前年度に比べまして、10億円の増ということになりました。この委員会で、6,000億円の予算規模の5%ぐらい。300億円ぐらいの財政調整用基金がいるかなと、こういうお話をいただいておりますけれども、それに対しまして、一応、443億円ということでご実績を上げさせていただいたというところでございます。

あともう一つ、県債の残高でございますけれども、国の交付税財源が足りないから、国から全部面倒を見るから、代わりに県の方で借りておいてくれという臨時財政対策債というのがあるわけでございますけれども、これを除きますと、12年連続でずっと減少してきたわけでございました。これはこれでよかったんですけれども、もう一つ、実は、25年度末は、県債残高全体としましても減少に転じておりまして、39億円の減ということございまして、実に7年ぶりに総額が減少したというようなことでございます。

これもひとえに皆様方の厳しいご指導を賜ったということで、心から御礼を申し上げながら感謝させていただくところでございます。

さはさりながら、今や、安心・活力・発展プランの総仕上げの時に至りまして、いろいろ行政需要もまた、たいへん高まっておるところでありまして、引き続き、効率的な運用に努めていきたいというふうに思っているところでございます。

今日はそういった意味で、大分県行財政高度化指針の進捗状況、それから、包括外部監査の結果、あるいは行政監査の結果等々について、皆さん方のご審議を賜りたいということで、どうぞ、引き続きよろしくお願い申し上げます。